

# ますは

## 「初めに言があった」

「初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。」

(ヨハネによる福音書 第1章1節・新約聖書160頁)

はじめに

今年のクリスマスはヨハネの福音書からメッセージをお取り次ぎしたいと思います。

ご存じのように福音書は4つあり、主イエスの生涯を紹介するもの、いうなれば伝記なのですが、普通、伝記はその人物の生まれる前後から書かれているはずですが、ところが、マタイとルカには記述があるのですが、マルコ、そしてこのヨハネにはそれらしき部分がありません。ヨハネの場合、ヨハネが主イエスは人ではなく、神なのだとして強調して伝えたからだと思われる。今回はそのテーマを踏まえながら、神によって救いの道が開かれたことの尊さを味わっていきたいと思います。

初めに

この福音書には誕生の部分が書かれていないと申し上げましたが、実は、これほどわかりやすく、主イエスがどのような方であるのか記してある箇所はありません。そのところを何回かに分けて確認をしていくつもりです。

まず「初めに」です。この言葉は、「何かの事を起こす」時に使われ、旧約聖書の「初めに神は」(創世記 1:1)と同じ意味として用いられています。つまり、これは、一番最初に、という順番を示す言葉ではなく、私たちに救いの出来事をもたらすぞ、という神のご意志を明らかにした言葉なのです。天地創造もそうですが、神は、闇の中にいる私たちを救うぞ、と身を乗り出してくださっていたことを告げています。詩編 40 編には滅びの闇から叫ぶ私たちの声を

聞き、「身を乗り出して」助けてくださったと歌われています。それが「初めに」の意味です。  
言

身を乗り出して、救いの出来事を始めてくださる神が、まずなされたのは「言」を明らかにすることでした。協会共同訳では、会話には「言葉」を使用していますが、この部分ではそれと区別させるために「言」を用いています。葉は増え広がりますが枯れてしまいます。言はその意志を実現させ、永遠に生き続ける、つまり神の約束を示しています。天地創造の際、なぜ日本書紀のように「しずくをたらして日本ができた」といった具象的なものではなく、「言」だったのか、それで完成ではなく、そこから救いが始まり、その神の意志が今も生き続けているからです。神は強い意志をもって私たちに救いのわざを始めてくださり、今も、その救いを私たちにもたらすことができる。「いつも救うことができる」(口語訳・ヘブル 7:25)、それが「言」の意味です。

言は神

その「言」が、私たちの前に現れてくださった主イエス・キリストです。私たちに救いを実現するために、そのわざを起こしてくださり、そして、それを実現しただけではなく、いつでも救うことができるように、門を開き続けてくださる。その神のご意志こそ、主イエスご自身そのものなのです。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】  
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



## 今週の祈り

「初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であつた。この言は、初めに神と共にあった。」(ヨハネによる福音書 1:1 ~ 2)

「私は耐えて主に望みを置いた。すると主は私に向かって身を乗り出し 私の叫びを聞いてくださった。主は私を滅びの穴、泥沼から引き上げて 私の足を岩の上に立たせ 歩みを確かなものとし 私の口に新しい歌を 我らの神への賛美を授けてくださった。」(詩編 40:2,3,4)

「彼は、いつも生きていて彼らのためにとりなしておられるので、彼によって神に来る人々を、



いつも救うことができるのである。」(口語訳・ヘブル人への手紙 7:25)

神さま、今年もクリスマスの備えをする月を迎えました。私がクリスマスにふさわしい思いで迎えることができるように、どうぞ整えてください。今日の言葉で、神さまが私の救いのために身を乗り出してくださったことがわかりました。そして、それを実現し、いつでも救いを受けることができるようにして下さっているのです。感謝します。そして、世界中の人たちが救いに導かれますように。御名によってお祈りいたします。アーメン。

## 深読みにチャレンジ!

### 箴言 (82) 第4章10節

\*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「子よ、聞け、私の言葉を受け入れよ。それはあなたの命の歳月を増す。」

◎口語訳 「わが子よ、聞け、わたしの言葉をうけいれよ、そうすれば、あなたの命の年は多くなる。」

◎新改訳 「わが子よ。聞け。私の言うことを受け入れよ。そうすれば、あなたのいのちの年は多くなる。」

#### 「命の歳月」

再び、子に対する呼びかけから、父の諭しの言葉が始まります。

「私の言葉を受け入れよ」とは、願いではなく命令に近い強い語りかけです。子たちが聞いていないわけではないのに「聞け」、拒絶しているわけではないのに「受け入れよ」と語る、父の子に対する強い思いを感じます。同時にそれは、今まで先祖たちが神を畏れる生活をして来たからこそであり、自分の代で終わらせるわけにはいかないという必死な思いを感じます。重圧さえ感じていたはずです。

私の家は祖父が信仰を持ち、祖父の子である叔母たちが信仰を持ち、その後に私の母、そして晩年に叔父が信仰を持ちました。その信仰を私の代、つまり3代目の世代で4人が受け継いでおり、私の子で4代目です。祈っていますが、

#### 【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1 ~ 9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1 ~ 22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17 ~ 31:31)
  - a 知恵ある人の言葉 (22:17 ~ 24:34)
  - b ソロモンの言葉 (25:1 ~ 29:27)
  - c アグルの言葉 (30:1 ~ 33)
  - d レムエルの言葉 (31:1 ~ 31)

孫が救われれば5代目になります。何代にもわたって信仰が継承されていくように、自分の責務として祈っています。

十戒に「あなたの父と母を敬いなさい。そうすればあなたは、あなたの神、主が与えてくださった土地で長く生きることができる」(出20:12)とあるように、父と母の信仰に生きる生き方を敬い、それに倣うなら、「命の歳月を増す」と約束されています。長生きをするというよりも、自分の人生のすべてが祝福されていくとの約束です。実現していきたいものです。

## 聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

### 【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈禱課題」も祈る。

**【月曜日】** ◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

歴代誌上第4章10節「『どうか私を祝福して、私の領土を広げ、御手が私と共にあって災いを遠ざけ、私が苦しむことのないようにしてください』と呼びかけると、神は彼の求めをかなえられた。」◆ヤベツはこの祈りによって、系図の中に覚えられた。私たちもこう祈りたい。国境を広げるとは自分の賜物が豊かにされ、様々な働きができるようにとの意味であり、同時にこの罪の世のすべての災いから免れることができるようにと祈っている。この祈りは主の祈りにも通じ、私たちの生活が具体的に導かれていくために、献げるべき祈りの姿勢だと思う。

### ●賛美／73 ●祈禱課題

- ◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。
- ◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

**【火曜日】** ◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

歴代誌上第5章1節「ルベンは長男であったが、父の寝床を汚したので、その長男の権利はイスラエルの子ヨセフの子らに与えられた。」◆長子の権がヨセフにわたり、ユダがまさる者となったことが記されている。ルベンは父の妻、義母との近親相姦により、長子の権を失ってしまった。ヨセフの一件で、彼が保身にはしていること、またヤコブの遺言から短気であったことなどがわかる。「もはやすぐれた者(長子)ではあり得ない」と宣言されている(創世記49)。エサウも一杯の煮物で長子の権を軽々しく扱った。神からの祝福をないがしろにしてはならない。

### ●賛美／74 ●祈禱課題

- ◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

**【水曜日】** ◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

歴代誌上第6章1節「レビの子らはゲルシオン、ケハト、メラリ。」◆レビの子孫が宮での祭儀の一切を行った。レビ人がいなければ礼拝は行うことができなかった。そのため、彼らは各部族の相続地にいくつかの町をもらい、住んでいた。実は、これはヤコブの遺言によるものでもあった。「私は彼ら(シメオンとレビ)を…分け、イスラエルの中に散らす」(創世記49:7)。彼らは自らの罪ゆえに相続地をもてなかった(シメオンはユダに吸収される)。だが神はその憐れみにより、レビをこのように用いたのである。

### ●賛美／75 ●祈禱課題

- ◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように
- ◆宗教法人を取得できるように
- ◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

歴代誌上第7章27節「その子ノン、その子ヨシユア。」◆この章はイッサカル、ベニヤミン、ナフタリ、エフライム、アシエルのそれぞれの部族が紹介されている。このような名前の紹介が続く系図の場合、活躍した人物が出てくると、その人物が立体的にと言うか、「本当に生きていたのだ」と実感がわく。ヨシユアはモーセの後継者として活躍するわけだが、その先祖の中には家畜を盗もうとして殺された人物もいた。ヨシユアはいつ勇ましい信仰をもつに到ったのか、想像すると、系図からもメッセージが浮かび上がる。

●賛美／76 ●祈禱課題

◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。

◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

歴代誌上第8章33節「サウルはヨナタン、マルキ・シユア、アビナダブ、エシュバルをもうけた。」◆実は第7章にもベニヤミンの系図が記されている。長子のベラだけが共通しているが、そのベラの子たちも全く違う系図になっている。おそらく何かのメッセージが隠されているはずだ。このベニヤミンから初代王サウルが出た。最初はよかったが徐々に信仰を落としていくのが子どもの名前でもわかる。エシュバルとは「バアルを信じる」との意味。ダビデの友ヨナタンはその子に「メリブ・バアル(34・バアルはいない)」とつけ、神信仰を貫いた。

●賛美／77 ●祈禱課題

◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。

◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。

◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

歴代誌上第9章27節「彼らは神殿の周りで夜を過ごした。神殿を守り、毎朝、扉を開くことが彼らの務めだったからである。」◆日本では天守閣のすぐ近くに有力な武士を住ませた。今も武家屋敷やその跡が残っているところがあるとおりだ。イスラエルが最も重要としたのは「契約の箱」であり、それを安置する幕屋だった。レビ人はそれを守るために、すぐ近くに住んだのだ。私たちもまた、神との交わりを最優先したい。そのためにも、守る姿勢を崩してはならない。そして、朝ごとに礼拝をささげていきたい。

●賛美／78 ●祈禱課題

◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。

◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

歴代誌上第10章13節「サウルは主に対する背信の罪のために死んだ。彼は主の言葉を守らず、霊媒に伺いを立て、これに尋ね」◆初代王はダビデが現れてからいっそう神信仰から遠のいていった。自分の感情を抑えきれずに、直情的な行動を起こし、自らの職務も果たせなくなっていく。そして彼は、神を捨てたのである。「主は彼の命を絶ち」とあるが、それは神が直接彼に手を下したのではない。自らが神とのつながりを断ったことに対し、神はその意思を優先されたということである。当然、それは魂の死を意味する。愚かな選択である。

●賛美／79 ●祈禱課題

◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。

◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



# おやこでせいしよ

## ●きょうのせいしよ

【ルカによるふくいんしよ 1:67～80】

「ザカリヤのよげん」

(ルカによるふくいんしよ 1:68～69)

さいし ザカリヤが くじを ひいたところ たいせつな やくわりが まわってきました。たぶん、 いっしょうのうち できるか できないかの せいじよに はいって おいのりを する しごとです。

そのひ きんちょうしながら、 せいじよには いました。すると、 てんしが あらわれた ではありませんか。ザカリヤは びっくり。すると、 てんしは いいました。「あなたの おくさん エリサベトは おとこのこを うむ。ヨハネと なづけなさい。そのこは かみさまに もちいられる ひとに なります」。ザカリヤは いいました。「わたしも つまも もう としをとって こどもは できません。すると てんしは このことが じつげんするまでは あなたは くちが きけなくなる だろう。それは かみさまのおつげを しんじなかつたからだ。

だいじな せいじよでの しごとが おわって、 ザカリヤは できたのですが、 くちを きくことが できませんでした。

しばらくして、 おくさんの エリサベトの おなかのなかに あかちゃんが あたえられました。みんなは びっくりです。エリサベトは、「これは かみさまの なされた ふしぎな わざです」と みんなに あかししました。このことは、 マリアが せいれいによって イエスさまを おなかに やどしたことを みんなが うけいれることができる できごとにも なりました。

エリサベトは てんしのみつけどおり おとこのこを うみました。ザカリヤは ヨハネと なづけると いたにかいて みんなに しらせると、 そのとたん、 くちが きける ように なりました。

そして、 せいれいに みたされて かみさまからの ことばを みんなに しらせました。「すくいぬしが わたしたちのために うまれます。そのため の じゅんびを するために このこは うまれたのです」。

バプテスマのヨハネのたんじょうです。

## ●かんがえてみよう

☆ザカリヤは せいじよのなかで、 てんしに なんと いわれましたか。(ルカ 1:31)

☆ザカリヤは それをきいて、 なんと こたえましたか。(ルカ 1:18)

☆もとどおりに くちが きける ようになった ザカリヤは どんな よげんを かたりましたか。(ルカ 1:69)



# なむむ聖書

## もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりますが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

おそれなくつかえる

	え	る	な	つ			お	
れ	な	つ					く	
か	そ		る	く				な
そ	か		く	お		れ	な	
る		な			つ	そ		
つ	お	れ	そ		か			
	れ	か	お		な	つ		
お	つ	く	か		え			
な		そ	つ			お		

## ことばあとび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。答えてください。

（サムエル記下5章）

- ① ぼけのひのあかり
- ② わしらのあれ
- ③ いちようせ
- ④ われあみ

## まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





# 牧師の 聖書 ななめ読み

「太陽神」

モーセがエジプトから脱出する際に、神は10の災いをもって、ファラオにイスラエルの民の解放を促しました。まずナイル川が地に変わり、次に蛙が大量発生して手がつけられなくなります。さらにぶよ、あぶの発生、続いて疫病、腫れ物が大流行、それだけに終わらず、雹が降り、ばったが襲来します。エジプト全土に目も当てられないほどの災いもたらされるのですが、これはファラオが心をかたくなにしたからに他なりません。なぜファラオは強

気だったのか。それはエジプトの神々に頼っていたからです。ところが、その神々が次々にやられてしまう。川の神、土の神、牧畜の神、医療の神、天候の神、農耕の神などに神からの鉄槌が下されるのですが、最後に「まいった」と言わせたのは、エジプトの最高神である命の源、太陽神ラーの敗北です。10番目の災いである暗闇は、太陽神の威信を失墜させるには十分過ぎる出来事でした。

実はあのピラミッド、太陽神の崇拜の場所で、ファラオが頂点に立つことで自らが太陽神と同化する、つまり神となることを象徴していたとの学説があります。すなわち、あの暗闇は、太陽神でもあるファラオ自身が否定された瞬間でもあったのです。ただ単に暗くなって恐いだけではなかったのです。

## 聖書ふれあい街歩き

### ●バベル

エデンを源流とすると思われるティグリス川とユーフラテス川はおおまかにいうとメソポタミア地方を流れていたわけで、そうすると、誓書の最初の舞台はこの地域であったと考えてもおかしくありません。例えば、アダムたちが住んだ場所も、そしてノアが住み、箱舟を作った場所も、現在のイラン、イラクあたりだったのでしょう。ノアの時代の洪水の後も、同じ言葉を使っていた人たちが、「東の方から移って来て」、メソポタミア地方の南部にあたるシナルの平地に住んでいたので、パレスチナ地方とはかなり外れたところが、聖書の舞台だったのです。

シナルはシュメール文明が発生した場所ですが、ここでバベルの塔の出来事が起こります。今、この塔を彷彿させるような遺跡が残っています。現在のイラク南部にあるウル、つまり、アブラムがハランに移住する前に住んでいたカルデアのウルに、有名なジグuratが残っています。アブラムの時代が約BC2000年とすると、その建物はBC2100頃と言われているので、すでに建っていたことにはなりますが、バベルの出来事の後も、こりずに同じようなものを建てていたのでしょう。

## ななめ聖書 先週のこたえ

た	あ	お	ね	か	ず	れ	け	ら
れ	ら	け	た	お	あ	ず	ね	か
ね	ず	か	ら	れ	け	あ	た	お
ら	け	あ	れ	ず	た	か	お	ね
か	ね	ず	あ	け	お	ら	れ	た
お	た	れ	か	ね	ら	け	ず	あ
け	か	ら	ず	た	ね	お	あ	れ
あ	お	た	け	ら	れ	ね	か	ず
ず	れ	ね	お	あ	か	た	ら	け

- ①びしいかた
- ②おくびょう
- ③ちゅうじつ
- ④せいさん

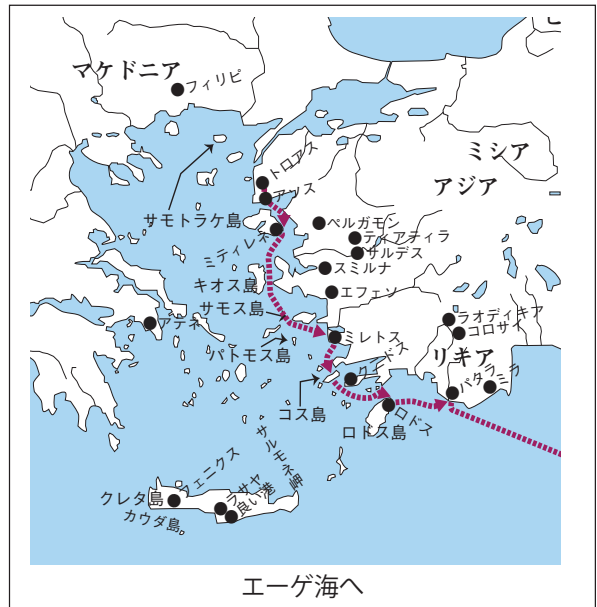


## ミレトスでの送別会

パウロは、アジア州で時を費やさないように、エフェソには寄らないで航海することに決めていたからである。できれば五旬祭にはエルサレムに着いていたかったのですが、旅を急いでいたのである。

パウロはミレトスからエフェソに人をやって、教会の長老たちを呼び寄せた。

長老たちが集まって来たとき、パウロはこう話した。「アジア州に足を踏み入れた最初の日以来、いつも私があなたがたのように過ごしてきたかは、よくご存じです。すなわち、謙遜の限りを尽くし、涙を流しながら、また、ユダヤ人の数々の陰謀によってこの身に降りかかって来た試練に遭いながらも、主にお仕えしてきました。役に立つことは一つ残らず、公衆の面前でも方々の家でも、あなたがたに伝え、また教えてきました。」(使徒言行録20:16~20)



エーゲ海へ

## 【五旬祭までに】

五旬祭(ペンテコステ)は、出エジプトを記念する「過越祭」から7週間後、つまり50日目に祝う「収穫の初穂を神に感謝する祭」です。使徒言行録にあるように、この祭りのさなかに聖霊降臨が起こったので、クリスチャンたちは、旧約聖書が定め、今もユダヤ人たちが行い続けている五旬祭ではなく、聖霊降臨日として祝っています。「ペンテコステ」はギリシア語で「50日」という意味です。

では、なぜパウロはこの五旬祭までにエルサレムに戻りたかったのでしょうか。パウロもミハーだったのかなとか思わないでください。祭りに参加したかったからではなく、宣教上重要ないくつかの理由が考えられるのです。

まず第一は、複数の教会から献げられた献金を預かっていただけですが、それを届け、献げるために良い機会だと思っていたからです。

パウロは第3次伝道旅行の間、諸教会に呼びかけて貧しいエルサレム教会への支援献金を集めていました。「マケドニアとアカイアの人々が喜んで同意して援助した」「募金の成果」を「エルサレムにいる聖なる者たちの中の貧しい人々」のために、「確実に手渡す」(ローマ15:25~28)とあり、またコリント一16:1~4ではガラテヤの諸教会などもあります。

この奉仕はパウロにとって単なるエルサレムの信徒への経済支援ではなく、なかなか受け入れられなかった「異邦人」の信徒たちを認めさせ、ユダヤ人たちが中心だったエルサレムの教会を結びつけるものだった、と考えて良いと思います。そのことにより、異邦人信徒への理解を深め、受け

入れてもらいたかったのでしょうか。さらに「エルサレムのユダヤ人受け」するために、異邦人の献金を「初穂」として献げようとも考えていたはずですが、たとえば、クリスマスをお祝いするために集まります。クリスマスツリーがあって、またごちそうが用意されていたとします。しかし、お祝いの最後になっても「クリスマスプレゼント」がなかったらどうでしょう。そのように五旬祭には「初穂の献げ物」が欠かされたのです。パウロはそのようなかたちで献金を献げようと思ったのだと考えます。

そのためには、ユダヤ人たちが各地から集まってくる三大祭り(過越祭、五旬祭、仮庵祭)に合わせ、できるだけ多くの信者の前で、このことを証したかった、それが二番目の理由です。

五旬祭は、パウロと同じような離散していたユダヤ人たち(ディアスポラ)のユダヤ人たちがエルサレムに集まる機会です。エルサレムの信徒だけではもたまりません。世界中から離散している人たちが来るわけで、その中には、まだ福音を信じていない人も多く含まれているわけですから、絶好の証しの機会です。信仰を持って自分の住んでいる地域に戻り、そして、現地のクリスチャンたちと合流できるなら、どんなに喜ばしいことか。そのように思っていたはずですが。

## 【ミレトスに呼んだ】

「旅を急いでいた」ために、素通りせざるを得なかったエフェソの信徒たちをミレトスに呼び寄せたとあります。これはエフェソの教会の重要性を証明する記事です。内容については次回詳しく解説しますが、パウロの行動を考えると珍しいパターンではなかったかと思えます。

## キリスト教まるわかり Q&A

### ◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。

### ◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

### ◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されており、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

### ◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

### ◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

### ◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が違うため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

### ◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

## 2025年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過すために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日に加え、守っています。

### \*\*\*顕現節(1/6～#3/4)\*\*\*

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#3/2)として守ります。

### \*\*\*四旬節(#3/5～#4/12)\*\*\*

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#3/5)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#4/13～4/19)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#4/13)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/17)、十字架にかかれた受難日(#4/18)と過ごしていきます。

### \*\*\*復活節(#4/20～#6/7)\*\*\*

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/20)から始まります。春分の日後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/29)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日#6/1)となります。

### \*\*\*聖霊降臨節(#6/8～#11/29)\*\*\*

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#6/8)から始

まり、三位一体主日(#6/15)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

### \*\*\*待降節(#11/30～12/24)\*\*\*

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/21)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

### \*\*\*降誕節(12/25～1/5)\*\*\*

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

### 【記念日】

母の日(5/11・5月第二)  
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)  
花の日(子どもの日・6/8・6月第二)  
父の日(6/15・6月第三)  
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)  
宗教改革記念日(10/31・1517年)  
収穫感謝日(11/23・11月第四)

### 【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・水)  
成人祝福礼拝(#1/14・1月第二)  
聖書愛読週間(#3/23～29)  
みふみの日(3月23日)  
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/27)  
最後の晩餐集会(#4月17日夕)  
召天者記念合同礼拝(#6/1・6月第二\*今年は第一)  
弾圧記念礼拝(#6月22日・26日前後の主日)  
石出忠師記念礼拝(#7月6日・7月第一)  
敬老祝福礼拝(#9/14・9月第三)  
子ども祝福礼拝(#11/2・11月第一)  
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・水)

## 教会紹介

### ●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

### ●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

#### 【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙 2:5:17 など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙 2:19 ~ 20 など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記 15:26 など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙 1:5:51 など)

## 教会の信条

さがみはら きょうかい いか しんじょう かか  
相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし  
私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

しゅ  
主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、ひとびとを救い、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

## MEMO

## 単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦 牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

